

物価高でやりくり限界

日本共産党

# いまこそ 暮らし・福祉まもる区政に

賃金は上がり、年金は下がる…そこに異常な物価高が生活を襲っています。なんとしても台東区政が区民の暮らし・営業を守り抜かなければなりません。

日本共産党区議団はみなさんとともに、自民・公明の抵抗・妨害をのりこえ、子ども医療費の無料化の拡大をはじめ、ぶれずに願いを実現してきました。さらにがんばります。



商店街で物価高騰などの影響を聴く日本共産党区議団

## 5つの緊急政策

- ① 学校給食をずっと無料に**  
1月からの保護者負担ゼロを、恒久的な無償化に前進させます。
- ② 光熱費を補助、省エネ対策拡充**  
高騰分を直接支援。二重窓、省エネ機器購入助成などエコ対策も前進へ。
- ③ 教員不足解消へ区独自の教員採用**  
担任のいない学級をなくし、教員が子どもとじっくり向き合い合える学校へ。
- ④ 事業継続資金を新設・支援**  
コロナ対応融資を「別枠債務」にし、新規融資を可能に。営業継続へ。
- ⑤ 大空襲資料の常設展示場を整備**  
東京大空襲の貴重な資料をいつでも見て、平和の大切さを伝えられるように。

日本共産党 台東区議

## 伊藤のぶ子



あなたによりそう台東区政に

命は平等です。誰もが安心して、差別なく医療にかかれる社会を、と活動してきました。子どもの医療費無料化の拡大、補聴器購入助成への道を開くことが出来ました。

コロナ禍で拡大した貧困と格差の解消、ジェンダー平等の実現へ。安心して暮らせる台東区をめざします。

### プロフィール

福島県出身。水戸赤十字高等看護学校卒。東京保健生協・橋場診療所師長。区議2期。



## みなさんと力を合わせ、区政を動かしてきました。

1月から負担ゼロ

### 学校給食

日本共産党区議団は、「義務教育は無償」と定めた憲法の通り、学校給食の無償化を求め…、長年区議会で論戦。予算修正の中でも提案してきました。



昨年の第4回定例会でも自公は区民の「完全無償化求める」請願を「区外通学児と格差」(自民)「法律があり、できない」(公明)などと反対して不採択に。その一方、区からは当面給食食材費補助で保護者負担をなくす予算が提案され、1月から負担ゼロが実現しました。

ところが2月24日、区長は共産党の一般質問に「恒久的な無償化は考えていない」と答弁。日本共産党は「ずっと無料」めざし全力をあげます。

10月、補助スタート

### 補聴器購入

日本共産党区議団は加齢に伴う難聴が、社会的孤立や認知症につながる、と聞こえ相談会や耳鼻科医の学習会を開き、磁気ループ使用や正しい補聴器の選び方・使い方啓発に取り組んできました。

議会では補聴器購入への補助を求め繰り返し質問。はじめは難聴と認知症との関係を認めなかった区が関係を認めるまでに。

現在の第8期福祉計画にもりこまれ、10月から聞こえ機器購入助成が始まります。一人ひとりに寄り添った有効な補聴器購入の支援になるよう力を尽くします。



新しい台東

2023年3・4月号  
新しい台東社 台東区千束2-18-7高井方 ☎3876-2797

日本共産党台東地区委員会の政策と見解を紹介します。